

# GUIDE

ハードとソフトの両面からアプローチする

# リスク対策の勘どころ

工場や企業で起こりうるリスクは大まかに想定できるが、それらのリスクがゼロになる万全な対策を講じるのは容易ではない。例えば、設備や工具が被害を受けないように管理を常日頃から行っているとしても、設備と設備をつなぐシステムや電気系統がダメージを受けてしまうケースもある。完璧だと思っけていても、どこかの部分で落とし穴があるからだ。

したがってリスクの影響を最小限に抑えることは可能になるかもしれないが、リスクを根底からなくすことは不可能に近い。さらに「これだけをやれば十分」と言い切れる対策や上限がないという点もリスク対策をより難しくさせている。そこで本コーナーでは、工場でのリスク管理を設備などのハード面と組織体制をはじめとするソフト面の双方からアプローチする。抜け目のない対策を行い、リスク管理能力向上の参考にしてほしい。

執筆者(50音順)

・ハード対策編・

鈴木 宣二(すずき せんじ) 鈴木宣二技術士事務所所長  
庄司 正樹(しょうじ まさき) アースコンサルティング代表  
平野 高史(ひらの たかし) ヒラノ・ビジネス・コンサルティング代表  
宮野 正克(みやの まさかつ) NPO法人 ISO 検証審査協会理事長

・ソフト対策編・

細坪 信二(ほそつぼ しんじ)  
NPO法人 事業継続推進機構 理事・事務局長  
NPO法人 危機管理対策機構 事務局長